Panasonic

コンパクトスクエア

〈避難口／通路誘導灯（両用型）（電池内蔵型）〉

取扱説明書

保管用

品番　SAH631（C級　片面型）　SAH633（C級　両面型）

（一般屋内用）　・器具の取付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

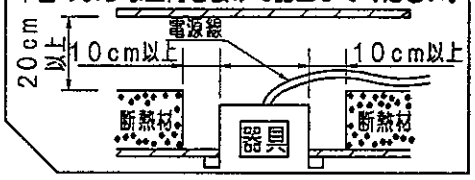
施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。　施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具に衝撃を与えたり、改造したりしない。　落下・感電・火災の原因となります。
- 天井埋込専用。指定以外の取付はしない。　落下・感電・火災の原因となります。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。　火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数以外の電源で使用しない。　感電・火災の原因となります。
- 蓄電池を短絡・分解などしない。　感電・火災・破裂・やけどの原因となります。

器具は、断熱材・防音材・造営材等と下図のような空間を設けて施工してください。



⚠注意

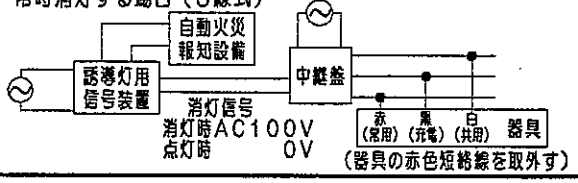
- この器具は一般屋内用器具です。雨水のかかる場所、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。　落下・感電・火災の原因となります。
- 外の風が直接当たる場所では使用しないでください。落下・破損の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。　蓄電池の劣化や火災、不点及び短寿命の原因となります。

施工上のご注意

- この器具の電源は誘導灯専用回路にしてください。
- この器具は常時連続点灯し使用してください。常時消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。また、自動火災報知設備との連動が必要なため、誘導灯用信号装置などを用いて消灯してください。
- 電源を通電せずに、蓄電池を接続したまま放置しないでください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。

配線種類・常時消灯しない場合（2線式）

・常時消灯する場合（3線式）



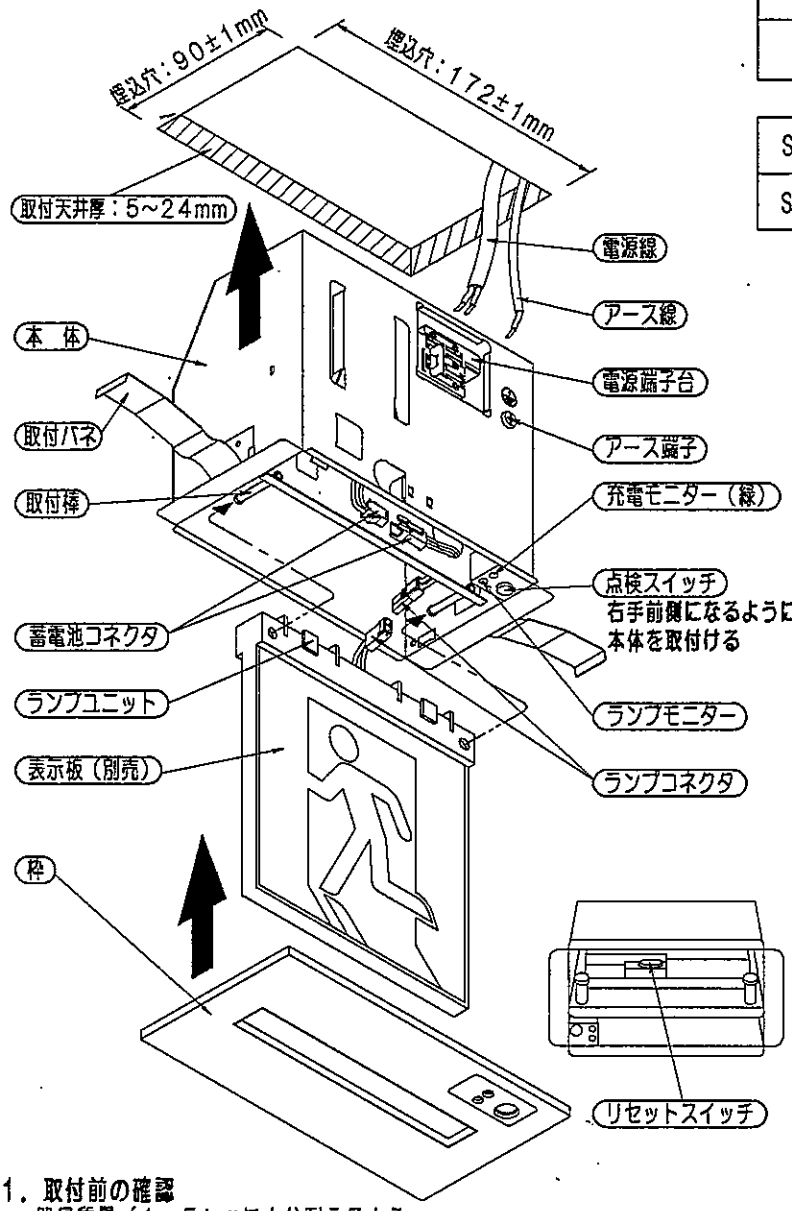
（器具の赤色短絡線を取外す）

器具定格・接続図

接続図についてはブロックの銘板、定格については器具の銘板を参照ください。

各部のなまえと取付けかた

※取扱説明書中の図は、一部簡略・抽象化しています。



⚠ 警告

施工は、取扱説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

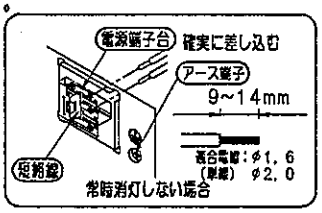
	適合表示板
SAH631（片面型）	FK01050 FK01055 FK01061 FK01062 FK01063
SAH633（両面型）	FK01040 FK01081 FK01083

1．取付前の確認

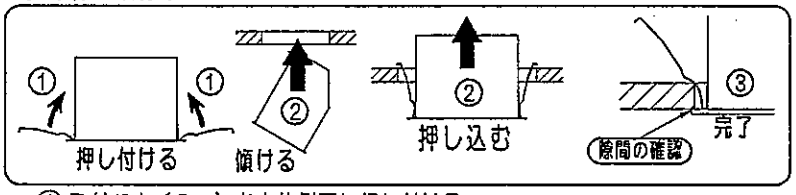
・器具質量（1．5ｋｇに十分耐えるよう、
取付面の強度を確保してください。
取付けに不備があると落下の原因となります。

2．電源線・アース線の接続

・電源線は器具内の電源端子台へ確実に接続する。
（電源端子台の容量は２０Ａです。）
・常時消灯する場合は、短絡線を外してください。
・常時消灯する場合は、所轄消防署の
承認が必要です。
・アース線を接続する。
**D種（第３種）接地工事が必要です。
接地が不完全な場合や容量オーバーの場合、
感電・火災の原因となります。**



3．本体の取付け



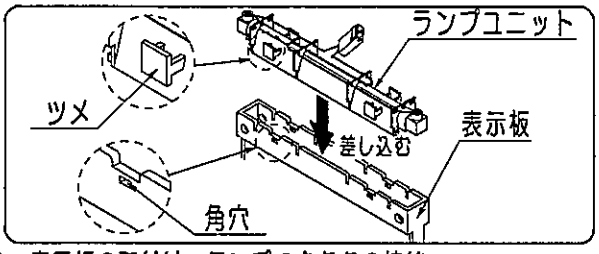
①取付バネ（２ヶ）を本体側面に押し付ける。
②本体を天井内に押し込む。（本体は図のように傾けて押し込んでください）
③本体を取付け後、取付面と本体の隙間がないことを確認する。
（注）本体取付方向は、点検スイッチを右手前側にして
表示板の表示面が手前に向くよう取付けてください。

4．蓄電池コネクタの接続

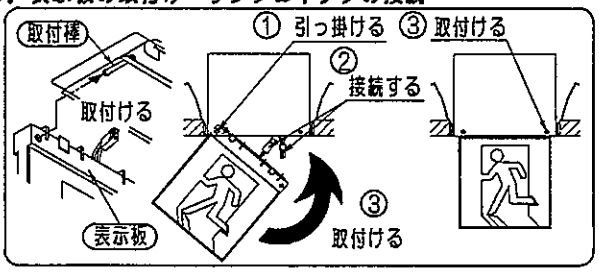
・方向を合わせ確実に奥まで差し込む。
**接続が不完全な場合、
動作不良の原因となります。**
・コネクタを器具の奥まで
押し込んでください。
**不備があると枠の落下の
原因となります。**

5．ランプユニットの取付け

・ランプユニットのツメ部（４ヶ所）が表示板の角穴に
入り込むまで確実に差し込む。
差し込みが不完全な場合、光学性能の低下の原因となります。



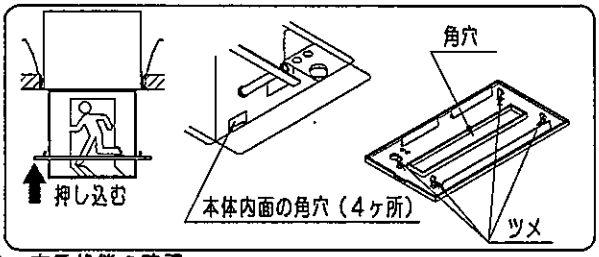
6．表示板の取付け・ランプコネクタの接続



①表示板を取付棒に片側のみ引っ掛ける。（方向は任意）
無理な方向に表示板をこじると、破損の原因となります。
②ランプコネクタを接続する。
接続が不完全な場合は、動作不良の原因となります。
ランプコネクタ接続後は、**必ずリセットスイッチを押してください。**
③表示板をもう一方の取付棒に引っ掛けて表示板を取付ける。
不備があると表示板の落下の原因となります。

7．枠の取付け

・枠の穴と点検スイッチの方向を合わせ、
枠の角穴に表示板を通して枠を取付ける。
（枠裏面のツメ（４ヶ所）が確実に本体内面の角穴（４ヶ所）
に引っ掛かること）
不備があると枠の落下の原因となります。



8．充電状態の確認

・電源通電状態で充電モニター、ランプモニターの状態を確認する。
正常状態 ・・・充電モニター（緑）は点灯
ランプモニターは消灯
点検スイッチを押し、非常点灯に切り替わるのを確認する。
非常点灯中、充電モニターは消灯
正常に動作しない場合は「故障かな？と思ったときは」
の項を参照してください。

取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●器具を改造しない。　落下・感電・火災の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがした場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠注意

●アルカリ系洗剤は使用しないでください。　強度低下による破損の原因となります。
●カセット式ランプは絶対に分解しないでください。　感電の原因となります。
●蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。　破裂する危険があります。
●蓄電池は絶対に分解しないでください。　感電・やけどの原因となります。蓄電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
●蓄電池のショートは絶対にさけてください。　感電・火災・破裂・やけどの原因となります。
●長時間器具を使用しないときは、消灯するまで放電させた後に蓄電池を外してください。　蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
●照明器具には寿命があります。*1 3～5年に一回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切に処置してください。放置すると、火災の原因となることがあります。

＊1　照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4～6年です。

保証について

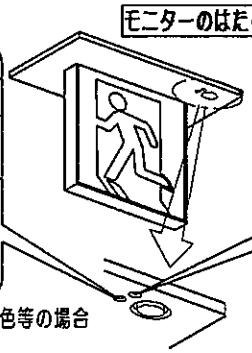
・保証について・・・・・・・この商品の保証期間は1年です。　ランプ・電池等消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について・・・・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
・補修用性能部品の保有期間・・・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年保有しています
補修用性能部品は、同等機能を有する代替品を含みます。

使用上のご注意

ランプモニター（赤）

ランプの交換時期や異常などをお知らせするものです。	点灯しない	正常です
	赤色点灯	ランプまたはランプの接続に異常が発生しています。
	赤色点滅	ランプ交換時期の目安です。ランプの点灯時間をカウントし、約6年半で赤色点滅でお知らせします。

モニターのはたらき



充電モニター（緑）

蓄電池の充電がなされているか確認できます。	緑色点灯	正常です
	点灯しない	蓄電池が充電されていません。非常点灯になっていないか、または、蓄電池コネクタが外れていないかを確認してください。

（注）ランプモニターが点滅しなくてもランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。

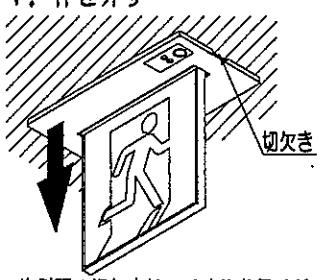
お手入れ・部品交換

・器具の清掃について・・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
・表示板の交換について・・・長期使用により、表示効果が低下（変色・退色）した場合は表示板を交換してください。
・蓄電池交換について・・・・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。

交換部品：蓄電池	SAH631	FK123 (3.6V600mAh)	SAH633	FK125 (4.8V600mAh)

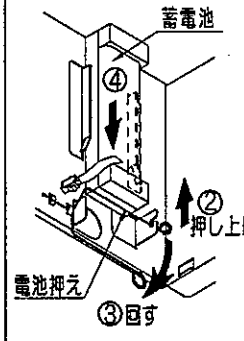
・蓄電池交換方法・・・・・・下図を参照のうえ確実におこなってください。

1．枠を外す

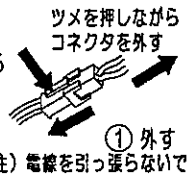


枠側面の切欠きにマイナスドライバーを差し込み枠を取り外す。
●枠を外す時、天井面を傷付けないよう十分に注意すること

2．蓄電池コネクタを外し蓄電池を交換する



① 蓄電池コネクタを外す
② 電池押えを押し上げる
③ 電池押えを回す
④ 蓄電池を取り出し交換する
●蓄電池の取付けには方向性があるので注意すること



（注）電線を引っ張らないでください。

3．蓄電池コネクタを接続する

接続が不完全な場合、動作不良の原因となります。

4．枠を取付ける

取付けに不備があると枠の落下の原因となります。

（枠取付けの詳細は「各部のなまえと取付けかた」の枠の取付けの項を参照して下さい）

5．非常点灯確認

電源通電状態で点検スイッチを押し非常点灯を確認する。
点検中、充電モニター（緑）は消灯

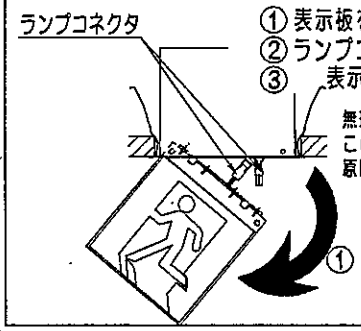
お手入れ・部品交換（続き）

・ランプの交換について・・・・・・・・・・・・・・ランプモニターが赤色点滅するとランプの交換時期です。（約６年半毎）
（パナソニック製蛍光ランプをご使用ください。）　（注）ランプモニターが点滅しなくても、ランプの明るさ低下または
交換部品 | コネクタ式ランプ | 品番：FL9134019（品名：CF130T4EN） | 変色等の場合はランプを交換して下さい。

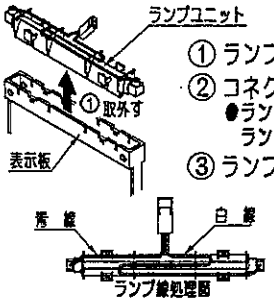
・ランプ交換方法・・・・・・・・・・・・・下記を参照のうえ確実に行なってください。電源通電状態で行なってください。

1．枠を外す

2．ランプコネクタを外し表示板を取外す



3．ランプユニットを取外しコネクタ式ランプを交換する



4．ランプコネクタを接続し、表示板を取付ける

ランプコネクタ接続後は、必ずリセットスイッチを押してください。

（表示板取付けの詳細は「各部のなまえと取付けかた」の表示板の取付けの項を参照してください）

5．枠を取付ける

取付けに不備があると枠の落下の原因となります。

（枠取付けの詳細は「各部のなまえと取付けかた」の枠の項を参照して下さい）

○定期点検　３ヶ月に１回は、破損・変形などの外観の点検をおすすめします。
６ケ月に１回は、必ず非常点灯持続時間（２０分間以上）、切替動作などの機能点検を合わせて行なってください。
（点検については、消防庁告示第３号および第１４号に定められています。）

○設置年月日　　年　月　日　　○取付場所　　○器具Ｎｏ.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな？と思ったときは

・表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現象	考えられる原因	処置
ランプが点灯しない	インバータ発振停止モードになっている。	点検スイッチを押す。（それでも点灯しない場合は、再度電源を入れ直す。）
	ランプコネクタが外れている。	ランプコネクタを確実に接続して点検スイッチを押す。
	ランプ交換後、リセットスイッチを２秒以上押していない。	ランプ交換後は、リセットスイッチを２秒以上押す。
	信号装置の手動スイッチが消灯側になっている。	通電側にする。
表示面が暗い	周囲温度５～３５℃の範囲外である。	５℃以下の場合暗くなる。
	点検スイッチが引っ掛かって非常点灯状態になっている。	点検スイッチの引っ掛かりを直す。
充電モニターが点灯しない	蓄電池コネクタが外れている。	蓄電池コネクタを確実に接続する。
	点検スイッチが引っ掛かって非常点灯状態になっている。	点検スイッチの引っ掛かりを直す。
ランプモニターが点滅している	ランプの寿命である。	ランプを交換して、リセットスイッチを２秒以上押す。
	ランプ交換後、リセットスイッチを２秒以上押していない。	ランプ交換後は、リセットスイッチを２秒以上押す。
ランプモニターが点灯している	ランプコネクタが外れている。	ランプコネクタを確実に接続して点検スイッチを押す。
	ランプが破損している。	ランプを交換して、リセットスイッチを２秒以上押す。
非常点灯しない 短時間しか点灯しない （長時間定格型：６０分未満） （その他：２０分未満）	蓄電池コネクタが外れている。	蓄電池コネクタを確実に接続する。
	蓄電池の充電不足である。	２４時間以上充電する。
	蓄電池の寿命である。	蓄電池を交換する。
非常点灯中に２０分以上点灯後突然消灯する	蓄電池の早期劣化を防止するため、特定電圧まで下がると消灯します。正常な動作です。	

Ni-Cd　この器具には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
ニカド電池の交換、およびご使用済製品の廃棄に際してはニカド電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。

パナソニック電工株式会社　施設・屋外照明事業部　〒571－8686　大阪府門真市門真１０４８

N0805-100908